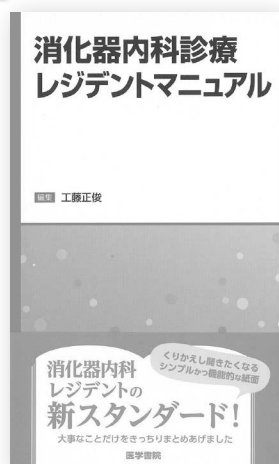


今月の特集関連本 ①



消化器内科診療レジデントマニュアル

工藤正俊＝編集

本体 4,500 円＋税／B6 変判・480 頁／医学書院／2018

消化器内科臨床で必ずわきあがる「？」に素早く答えます。多忙を極める病棟で外来で。いち早く情報にたどりつけるのは、検索性の高いシンプルかつ機能的な紙面と、長い文章を避けた徹底的に簡潔な記載だから。効率よくポイントを押さえられるのは、4 種のコラム・囲みの活用で知識が過不足なくきっちり整理されるから。消化器内科レジデントの新スタンダードは、繰り返し開きたくなるこの 1 冊で決まり！



『medicina』2019 年 01 月号 (Vol.56 No.1)

枠組みとケースから考える

消化器薬の選び方・使い方

野々垣 浩二＝企画

本体 2,600 円＋税／B5 判・192 頁／医学書院／2019

いつ、どの薬を、どのように投薬すべきか、「TPO」を意識し知識を整理する。本特集では、各セッティング（「診断前・診断後」「診察の場面：救急外来、一般外来、病棟など」「処方医：研修医・非専門医、専門医」）に応じた消化器薬の選び方・使用方を、具体的な症例を通して、また診療ガイドラインやエビデンスなどの文献的考察に基づき解説する。自分の置かれた立場で押さえておくべきポイントだけでも熟読しておきたい。



『medicina』2019 年 09 月号 (Vol.56 No.10)

脱・「とりあえず CT」！

スマートな腹痛診療

小林 健二＝企画

本体 2,600 円＋税／B5 判・168 頁／医学書院／2019

腹痛は、病歴聴取や身体診察を行わずに何の仮説もなく検査に飛びついてしまうと、見つかった異常の解釈を誤ることも、「検査に異常がないから大丈夫」と言えない場合もある。そのため、病歴と身体所見から「あたり」をつける作業が欠かせない。本特集では、「限られた時間とリソースのなかで、いかに質の保たれた診療をするか」に焦点を当て、腹痛診療のポイントをまず総論的に、そして、エキスパートがどのように腹痛にアプローチするのかを追体験できるように、症例を提示して解説した。